

実施計画作成要領（実施計画に関する報告の様式の記入方法）

- ・ 自動車騒音常時監視の実施計画について、記入して下さい。
- ・ 様式の上部にある「地方公共団体（名称）」、「作成者（氏名）」の各欄の記入については、次のとおりです。
「地方公共団体（名称）」：都道府県の場合は都道府県の名称、市の場合は都道府県名＋市の名称を記入して下さい。
「担当者（氏名）」：記入担当者の代表とする 1 名を、姓・名の順で記入して下さい。

No.	項目	記入要領	記入フォーマット（案）																	
			型	使用文字	文字数	記入例														
1	一連番号	地方公共団体ごとに、リスト全体で一連となる番号を記入して下さい。	整数	半角数字	6 字以内	15														
2	路線名	地方公共団体が監視の対象とする全ての道路について、路線名を挙げて下さい。 ※ 1つの路線で車線数が異なる区間がある場合（2車線区間、4車線区間など）は、車線数の異なる区間ごとに行を改めて路線名を記入して下さい。この場合において、行を改めて記入する路線名は、略文字（「Ⅱ」、「同上」など）を使用しないで下さい。	文字	全角かな漢字・半角英数字	30 字以内	一般国道 1 号														
3	道路種別	2 で記入した路線について、道路の種類を、下記の分類に基づいて、該当するコード番号を記入して下さい。 <table><tr><th>コード番号</th><th>道路の種類の分類</th></tr><tr><td>1</td><td>国土開発幹線自動車道等(高速自動車国道)</td></tr><tr><td>2</td><td>都市高速道路</td></tr><tr><td>3</td><td>一般国道</td></tr><tr><td>4</td><td>都道府県道（主要地方道を含む）</td></tr><tr><td>5</td><td>4車線以上の市区町村道</td></tr><tr><td>6</td><td>その他の道路</td></tr></table>	コード番号	道路の種類の分類	1	国土開発幹線自動車道等(高速自動車国道)	2	都市高速道路	3	一般国道	4	都道府県道（主要地方道を含む）	5	4車線以上の市区町村道	6	その他の道路	整数	半角数字	1 字以内	3
コード番号	道路の種類の分類																			
1	国土開発幹線自動車道等(高速自動車国道)																			
2	都市高速道路																			
3	一般国道																			
4	都道府県道（主要地方道を含む）																			
5	4車線以上の市区町村道																			
6	その他の道路																			
4	車線数	2 で記入した路線ごとに、車線数を記入して下さい。 ※ 1つの路線で車線数が異なる区間がある場合、路線の車線数が異なる区間ごとに行を改めて、車線数を記入して下さい。	整数	半角数字	2 字以内	4														
5	路線延長	2 で記入した路線について、路線ごとの延長を、キロメートル単位（小数点以下第一位まで）で記入して下さい。 ※ 1つの路線で車線数が異なる区間がある場合は、路線の車線数が異なる区間ごとに行を改めて、車線数ごとの路線延長を記入して下さい。	実数	半角数字	8 字以内 （小数点以下第 1 位まで）	20.0														

6	評価区間の 総延長 (全体)	<p>2 で記入した路線について、5 で記入した路線延長ごとに、面的評価を行う予定の延長を、キロメートル単位（小数点以下第一位まで）で記入して下さい。</p> <p>※ 本欄に記入する延長は、監視の対象となる道路の路線ごとに、実際に面的評価を実施する予定の延長を記入します。例えば、監視の対象となる道路 20km あり、住居等が連坦して存在する区間を 15km、トンネルを 5km 通過している場合、原則として環境保全対象となる住居等が沿道に存在する区間を面的評価の対象とするので、評価区間の総延長は 15km となります。</p> <p>※ ここで記入する評価の延長は予定の延長です。したがって、ある年実際に面的評価を実施したものについて、ここで記入する予定の延長と実際に面的評価を行った延長が異なることを妨げるものではありません。</p>	実数	半角数字	8 字以内 (小数点以下 第 1 位まで)	15.0
7	面的評価の 結果の更新 (ローテー ション年 数)	<p>6 で記入した評価区間について、面的評価の結果を何年周期で更新するか、更新の周期となる年数（ローテーション年数）を記入して下さい。</p> <p>※ ローテーションの周期は、原則として 5 年以内です。5 年を超えるローテーションを組む場合、18「備考」欄に、5 年を超えてローテーションを設定しなくてはならない理由を記入して下さい。</p> <p>※ 路線ごとにローテーションの周期が異なる場合がありますので、空欄のままや省略文字（「〃」、「同上」など）の記入はしないで下さい。</p>	整数	半角数字	2 字以内	4
8 ～ 17	1 年目 ～ 10 年目	<p>6 で記入した評価区間について、更新の周期（ローテーション）の中で何年目に面的評価の結果を更新するかを、面的評価の結果を更新する予定の年度ごとに評価区間の延長を、キロメートル単位（小数点以下第一位まで）で記入して下さい。</p> <p>※ 例えば「令和 3 年度」と「令和 6 年度」に分けて面的評価の結果を更新することを予定している場合は、「令和 3 年度」と「令和 6 年度」の欄に、面的評価の結果を更新する予定の延長を記入します。</p> <p>※ 路線ごとにローテーションの周期が異なる場合がありますので、空欄のままや省略文字（「〃」、「同上」など）の記入はしないで下さい。</p>	実数	半角数字	8 字以内 (小数点以下 第 1 位まで)	11.5
18	備考	<p>1～17 で記入したことに對して、補足すべき事項があれば、記入して下さい。</p> <p>※ {7}に関する記入方法の欄で示しているように、面的評価の更新計画として 5 年を超える周期のローテーションを組む場合、当該欄に、5 年を超えてローテーションを設定しなくてはならない理由を、この欄に記入して下さい。</p>	文字	全角かな 漢字・半角 英数字	100 字以内	
19	チェック 確認結果	<p>「入力チェック」ボタンを押し、記載内容にエラーがないことを確認してください。</p> <p>※ ローテーションが 5 年で設定されている場合は、令和 3 年度～令和 7 年度の計画の合計値が評価区間の総延長と一致していない場合、エラー表示されます。</p> <p>※ ローテーションが 5 年を超えて設定されている場合、「18 備考」に記載がなければエラー表示されます。</p> <p>※ ローテーション年数が 5 年未満の場合、当該欄が「－」で表示されます。ローテーション年数に見合った計画がなされているか、別途確認いただくようお願いします。</p>				